

## 4 事 例

次に、研究協力校に依頼した5つの実践事例を紹介する。

これらの事例はいずれも、第1年次研究において集約した「12の要点と基本的対応」の、予防的な指導援助における有効性を、実践を通して確認していこうとしたものである。

また、サブタイトルに、指導援助者が特に意図した予防的な指導援助のねらいを掲げ、指導の要点が明確になるように努めた。

「手引」との関連については、それぞれの事例の「考察」の中で、より具体的に論じた。

5つの事例の対象は、校種別に、小学校1校、中学校2校、高等学校2校となっている。

テーマ別では、「反社会的問題行動」が3例、「非社会的問題行動」が2例である。

性別では、男子3人、女子2人である。

\* なお、資料中の家族システム・力動図の見方は、下記の通りである。

(家族システム・力動図とは、家族間のコミュニケーションや情動の強さを線で表したもの)

結合の強さは、線が多いほど強く、点線は最も弱い。

≡ > = > — > ……

また、性別は、次の通り。

□ …… 男性を表す。 }  
○ …… 女性を表す。 } 大は大人、小は子供。

☒ ☒は、対象となる児童・生徒を表す。